

令和4年度 小・中学校教育課程研究協議会に係る各部会の改善の重点

部会名

中学校 社会科

改善の重点

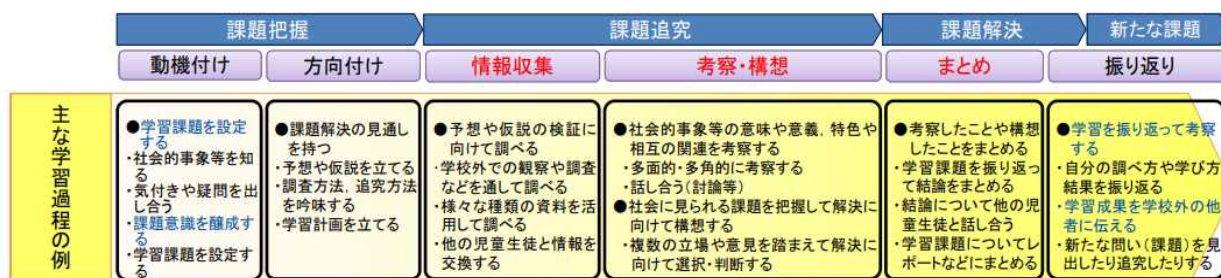
- ①単元など内容や時間のまとまりを見通して学習課題を設定すること。
- ②社会的な見方・考え方を働かせ、諸資料や調査活動などを通して調べたり、思考・判断・表現したりする学習展開を工夫すること。その際、1人1台端末を積極的に活用すること。

1 設定理由

中学校学習指導要領第2章第2節社会の第3「指導計画の作成と内容の取扱い」において、「単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにすること。その際、分野の特質に応じた見方・考え方を働かせ、社会的な事象の意味や意義などを考察し、概念などに関する知識を獲得したり、社会との関わりを意識した課題を追究したり解決したりする活動の充実を図ること。」と示されている。

社会科の学習では、資質・能力を育成するため、社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動の一層の充実が求められる。そのため、生徒が社会的な事象から課題を見だし、解決の見通しをもって他者と協働的に追究し、追究結果をまとめ、自分の学びを振り返ったり新たな問いを見いだしたりする学習過程を充実させることが大切である。また、課題を追究したり解決したりする活動においては、社会的な事象等について調べまとめる活動を位置付けることが重要であり、その際に効果的な1人1台端末の活用が求められている。

◆社会科、地理歴史科、公民科における学習過程のイメージ（「StuDX Style（文部科学省）」）



2 研究を進めるに当たって

(1) 実践に当たっては、以下のことに留意すること。

- ①課題を追究したり解決したりする活動を重視した単元の指導計画を作成すること。また、単元の指導計画に具体的な評価規準を位置付けること。
- ②「社会的な事象等について調べまとめる技能」（学習指導要領解説社会編 P186 を参照）を参考に、1人1台端末の活用場面に適切に位置付けること。

◆社会的な事象等について調べまとめる技能

- 手段を考えて課題解決に必要な社会的な事象等に関する情報を収集する技能
- 収集した情報を社会的な見方・考え方に沿って読み取る技能
- 読み取った情報を課題解決に向けてまとめる技能

(2) 参考とすべき資料

- ①中学校学習指導要領解説総則編及び社会編（文部科学省 平成29年7月）
- ②「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（国立教育政策研究所）
- ③StuDX Style（文部科学省）
- ④早わかり！単元計画の作成手順 中学校社会（令和2年2月 大分県教育委員会）